

核兵器廃絶への世界の流れ、国際世論への挑戦

北朝鮮による「核実験強行」に抗議する！

**「初の水爆」と発表
いかなる口実によっても正当化できない**

1月6日、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）は、朝鮮中央通信を通して、初めての「水爆実験」を実施し、成功したと発表しました。北朝鮮の核実験は今回で4回目。これは、世界と北東アジア全体の平和と安全を脅かし、国際社会における核兵器全面禁止・廃絶の流れに真っ向から挑戦するものです。
今回の行為は、いかなる口実によっても正当化されません。

**国際社会の一員として安保理
決議を受入れるべき**

国連安全保障理事会は、これまでたびたび、北朝鮮に対して、「すべての核兵器および核計画を放棄」し、これ以上の核実験の中止を求める決議を採択してきました。

北朝鮮は、国際社会の一員であるならばこの決議を受け入れ、一切の核・ミサイル開発を即時中止し、朝鮮半島非核化へ誠実に努力すべきです。

**政府は被爆国として
平和的解決の先頭に**

同時に、アメリカ、中国、ロシア、韓国など関係国の政府に対し、この問題の平和的解決と六カ国協議再開、朝鮮半島非核化に向け努力するよう求めます。

特に、日本政府は、核兵器使用につながる憲法違反の戦争法を廃止し、被爆国として核兵器全面禁止・廃絶を提唱し、問題の平和的解決の先頭に立つべきです。



憲法を守り いかし

国民の声が

政治を動かす年に



今年こそ平和な年に

2016年がスタートしました。「今年こそ、平和な年に」「今の日本は戦争へと向かっているようで怖い。いつまでも、『戦後』が続いてほしい」多くの方々の願いです。

憲法違反の「安保関連法」（＝戦争法）の「強行採決」から3カ月半。国民の不安と怒りはおさまりません。安倍政権は、「新三本の矢」や「軽減税率」を打ち出し、戦争法成立への怒りを忘れさせようと必死です。でも、国民は、決して忘れていません。

「2000万人署名」で戦争法廃止へ

「民主主義って何だ!」と青年が声をあげ、「誰の子どももころさせない」とママたちが声を上げた2015年。流行語大賞のトップテンに、「アベ政治を許さない」「SEALDs」が選ばれました。「国民の声を無視して『戦争する国』へと暴走するアベ政治をストップさせ、国民の声が届く政治に変えたい」その声が広がっています。

一人ひとりの「戦争だけはイヤだ」の思いを「戦争法廃止を求める2000万署名」に集めましょう。そして、「2000万人署名」で、「野党は共闘してほしい」という国民の願いを示し、国民の声で政治を動かしましょう。

戦争でテロはなくせない

テロの脅威、恐怖が世界に広がっています。テロ対策は、けっして報復戦争であってはなりません。戦争でテロをなくすことはできません。新たな憎しみを生み、報復の連鎖を生み出すだけです。もし、日本が戦争法を根拠に対テロ軍事作戦に参戦すれば、日本がテロの標的にされてしまいます。危険な戦争法の発動は止めなければなりません。

憲法をいかした平和外交こそ

国連は、IS資金源を遮断するなど、国際協調によるテロ根絶の道を追求しています。また、各国の有識者からは「テロを根絶するためには、テロ組織に青年を向かわせる土壌となっている差別や貧困をなくすことこそが求められる」との発言もされています。

日本国憲法第9条は、対話による紛争解決の道を示しています。そして、憲法前文は、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」と高らかにうたっています。日本国憲法を守り、いかすことこそ、テロも戦争もない世界への道です。